

令和4年度 浜松市立細江中学校 学校評価

学校
教育
目標 夢実現へ挑戦する
生徒の育成



学校
経営
目標 たくましい実践力のある
いきいきと躍動する学校

- 確かな生徒理解のもと、生徒一人一人のよさや可能性を生かす学校
- 互いに磨き合い、高め合い、夢実現に挑戦する学校
- 生徒・保護者・地域から信頼され、応援される学校

I 令和4年度の取組 「夢実現へ挑戦する生徒の育成」に向けて 夢や希望の実現に向けたキャリア教育

5 つ の 力	気付く力		考える力		伝える力		将来をえがく力		つながる力	
	自分のよさに気付く	→ 話し合い活動	自分事として考える	→ 教科授業・総合的な学習の時間	コミュニケーションをとる	→ 交流・グループ活動	学び続ける意欲	→ ポートフォリオ	人の考えとつながる	→ 交流・話し合い活動
	地域のよさに気付く	→ フィールドワーク	情報を分析する	→ 教科授業・総合的な学習の時間	プレゼンを行う	→ 交流・発表	将来の自分の姿	→ 職業学習	仲間とつながる	→ 交流・話し合い活動
	疑問に気付く	→ 交流活動	論理的に考える	→ 教科授業・総合的な学習の時間	自分の考えを伝える	→ 交流・発表	進路選択	→ 進路学習、一日体験学習	地域とつながる	→ フィールドワーク・インタビュー
	価値に気付く	→ 振り返り	課題を解決する	→ 課題解決学習	地域に発信する	→ 地域公開・学校HP	よりよい社会や地域	→ ホソトレ	実社会とつながる	→ 職場体験学習・講話

II (1) 自己評価

○生徒の評価（できた、まあできた）

基礎的・基本的な学習内容が身に付いた。	87.8%	タブレットの電源を入れ、googleアカウントやパスワードを入力し、ログインすることができた。	96.2%
集中して授業を受けることができた。	92.7%		
積極的に挙手・発表をした。	61.4%	教科の授業や学活、道徳、総合的な学習の時間にタブレットを使用した際、その学習に活用できた。	76.3%
宿題や学習用具を忘れなかった。	91.5%		
宿題以外の家庭学習にも毎日取り組んだ。	19.0%	進んで明るいあいさつをした。	98.2%
予定帳の「家庭学習の手引き」を参考に学習に取り組んだ。	19.0%	きまりを守り、正しい身なりで生活した。	98.1%
チャイム着席(二分前着席)ができた。	98.6%	自転車のマナー、交通ルールを守って、迷惑にならないように注意した。	94.7%
授業の内容は分かりやすかった。	88.7%		
「知りたい」「やってみよう」「できるようにしたい」と思う授業だった。	61.6%	黙働清掃ができた。	92.6%
授業内容が分からないとき個別に教えてもらった。	70.4%	毎日朝食をきちんととった。	94.8%
授業で頑張りやできたことをほめてもらった。	75.1%	部活動や校外活動では、技術や体力の向上に向け、粘り強く努力できた。	87.1%
授業で学習したことが自分の生活につながっていると思う。	84.1%	学校生活に満足している。	92.4%
授業で学習していることは役に立つと思う。	92.7%	5つの力を意識して生活することは大切なことだと感じている。	92.6%
ペア学習やグループ(話し合い)活動等がよくあった。	87.8%	5つの力を意識して日々の学校生活を送ることができた。	89.2%
指名されたときは「はい」としっかり返事ができた。	87.3%	学級や生徒会、部活動等での役割に対し、集団のために役に立ちたいと思って取り組むことができた。	87.1%
発表時、聞き取りやすい声で語尾まではっきりと発言できた。	96.4%		
友達の意見にしっかりと耳を傾け、聞くことに集中できた。	100.0%	学級や生徒会、部活動等での役割に対し、やって良かったと感じている。	92.4%
将来の夢や身近な目標をもって生活した。	92.6%		

○職員の評価（生徒たちの様子）

学習面	・全体的に落ち着いた態度で授業に臨めており、教師や仲間の意見を聞く際にも、相手の方を見て聞く姿勢が身に付いている。 ・タブレット等を上手に活用し、必要な情報を取得したり、まとめたりすることができる。スライドなどを容易に作成している。 ・話し合いの際には、積極的に級友と話をしている生徒が多い。自分の意見をもち、相手の意見も尊重できる子が多い。 ・学校で学んだことをその日のうちに復習する習慣が身に付くとさらに良い。長時間である必要はないが、継続できるとよい。
生活面	・登下校時や廊下ですれ違った際に、積極的に挨拶をする生徒が多い。部活動時の挨拶も、大変元気がよい。 ・朝も余裕をもって登校できているため、朝から落ち着いた生活ができる。清掃も集中して取り組める。 ・先生たちとも積極的に会話を交わし、互いに良好な関係を築こうとする雰囲気がある。相手への思いやりが感じられる。 ・委員会活動や学級での役割に責任感を持って取り組もうとする意識が高い。自ら役割に挑戦する生徒も多くみられる。
健康安全面	・自転車通学が多い中、事故もほほなく、安全に登下校できているが、さらに自転車のマナー(個々の意識)が改善されると、安全性が高まる。今後も大きな事故がない登下校になるとよい。 ・健康保持の意識が高く、マスク着用や黙食を徹底することができた。 ・SNSの使い過ぎにならないように、自ら注意して生活している様子がうかがえた。 ・全力で取り組むがゆえに、授業中や部活動中でのけがが目立った。集中力・注意力が高まるとよい。
キャリア教育	・ホソトレやホソフェスへの取り組みが大変意欲的で、発表も上手にできた。話し方・伝え方も向上している。 ・自分の振り返りだけでなく、仲間のよさや頑張りによく気付いている。 ・外部講師の話を課題意識をもって聞いたり、課題解決のために必要な手段としてフィールドワークに積極的に出向いたりした。 ・自分(たち)の思いや考えを、自分(たち)の言葉で堂々と級友に伝えようとする姿が見られた。相手に伝わることを意識した声量や言葉選びもできていた。

○保護者の評価（できた、まあできた）

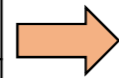
基礎的、基本的な学習内容が身に付いている。	60.3%	子どもの持ち物や身なり・服装について、注意して見ている(気にかけている)。	90.5%
宿題や学習用具を忘れずに登校している。	86.3%		
家庭学習の習慣が身に付いている。	53.5%	子どもの交友関係に特に心配することはない。	78.3%
予定帳の「家庭学習の手引き」が参考になっている。	50.2%	生活のリズムを崩すことなく、毎日おおむね同じ時刻に「起床・朝食・登校・帰宅・夕食・就寝」ができています。	82.9%
学校の様子を含め、子どもの会話を欠かさないようにしている。	87.8%		
将来の夢や身近な目標について、親子で話をしている。	73.1%	SNSを含むインターネットの使い方や利用時間等について、子どもと話をしている。	66.1%
朝晩のあいさつや、外出(登校を含め)・帰宅時のあいさつなど、家の人と声を交わす習慣がある。	93.5%		
毎日朝食を摂っている。	93.4%	細江中学校は「キャリア教育」に力を入れていることを、学校の教育活動や子どもの話から感じることができる。	58.1%

○学校運営協議会委員による評価（できた、まあできた）

生徒にとって「わかる授業」を行っている。	100.0%
「あいさつが響く」、「どの子にも居場所がある」、「いじめや差別がない」など、一人一人の可能性を伸ばす学校づくりを推進している。	100.0%
地域と連携し、地域と共にある学校づくりを推進している。	100.0%
魅力ある学校行事(体育大会、合唱コンクール、ホソ・フェス等や各種学年行事など)を推進している。	100.0%
夢や希望の実現に向けた「ふるさとキャリア教育」の充実を図っている。	100.0%
生徒の安全や健康のための取組(コロナ対策や避難訓練、いい声掛けデーなど)を十分に行っている。	100.0%
便りやホームページ等で、学校の様子をよく知らせている。	100.0%

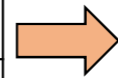
II (2) 自己評価からの考察と方策

・家庭学習が宿題をするだけで終わらぬよう、「家庭学習の手引き」を使った学習ガイド等の実施や、家庭での積極的な活用のための指導を計画的に行っていく。
・生徒にとってわかりやすい授業づくりに努め、学ぶ楽しさの実感につなげていきたい。授業での学びが定着につながっていくよう、課題(宿題)の内容や取り組み方への工夫を図る。
・キャリア教育の意義や目的を職員間で共通理解し、令和5年度に行われる「ホソ・フェス」では、3学年を通じた異学年交流発表会を予定しているため、系統的・体系的な発表につながるような指導の改善を検討していく。
・交通ルールやSNSの利用方法など、生徒の安心・安全にかかわる教育には積極的に取り組み、生徒の安全確保に努める。



III 学校関係者評価（2023年2月22日 第3回学校運営協議会にて）

IIの(1)(2)の報告を受けて、委員からは以下のような意見があった。
・タブレットの項目の数値が低いと思う。せめてログインは100パーセントにしてほしい。できていない子のフォローをしてほしい。また、タブレットの活用において、76%は少ないので心配になった。
・Z世代のSNS利用について社会的問題となっているが、生徒のアンケートに「社会的問題とならないようにSNSを使いこなせる」という項目を作ってもいいと思う。
・生徒が一生懸命活動する姿が見られ、受け入れて良かったという声を聞いた。そういう中で、職場体験を依頼するのが一番大変だったのは製造業であった。何をやってもらったらいいかと逆に質問されたこともあった。さらに、機密保持で受け入れが難しいという企業もあった。今後も職場体験を毎年やっていくのであれば、受け入れ先からの意見(アンケートの結果)を学校運営協議会の委員にも知らせたい。それらをもとに、企業に打診できることが望ましい。



IV 今後の改善点

・アカウントやパスワード(各個人で設定済)は個人情報であるため、基本的に本人が覚えていなければならないことである。今後の社会情勢を考えると、個人情報の管理は必須である。個人情報の管理を含め、ネット環境下における生活の仕方を丁寧に教えていく必要がある。また、情報モラルも身に付ける必要もある。情報モラル講座を実施したり、アカウント等の管理の仕方を教える時間を設けていくことを検討する。
・中学生の携帯電話の所持率も非常に高く、気軽にSNSを利用できる(利用している)現状をふまえ、個人情報の管理と共に、SNSとの関わり方や使い方を学ぶ機会が必要となっている。その中で、SNS利用に関するアンケート項目を立て、確認していくことで、自らの関わり方を再認識できる機会となれば、それが望ましいと考えられる。次年度以降、アンケートを含め、意識づけを重点的に行っていくことを検討する。
・学校運営協議会委員の協力のおかげで、職場体験活動で訪問できる事業所が60カ所以上もあり、大変充実した活動を行うことができた。今後も活動を継続していきたいと考えているため、受け入れ先からの意見を学校運営協議会委員にもしっかりと伝えていき、さらに発展的な活動につなげていきたい。